

～人と自然を思いやるまち～

第2次 御前崎市環境基本計画

【後期計画】



令和8年3月
御前崎市

第2次御前崎市環境基本計画【後期計画】の概要



基本的事項

■計画の位置付け・計画期間

- 本計画は、国・県の環境基本計画や本市の最上位計画である「御前崎市総合計画」をはじめ、環境保全及び創造に関連する各分野計画と整合性を図っています。
- 計画期間は2026（令和8）年度から2033（令和15）年度までの8年間です。

世界・国の動向

- **持続可能な社会**：SDGsの世界的な広がり、ウェルビーイング（高い生活の質）の向上
- **自然共生社会**：ネイチャーポジティブ（自然再興）、30by30、自然共生サイト
- **循環型社会**：循環経済（サーキュラーエコノミー）、食品ロス削減推進法、プラスチック資源循環促進法
- **脱炭素社会**：2050年カーボンニュートラル、GX（グリーントランスフォーメーション）

御前崎市の環境の現状と課題

■自然環境・生物多様性

- 松枯れ被害、磯焼けによる藻場消失
- 海洋プラスチックごみ
- 人工林の荒廃、遊休農地増加
- 絶滅危惧種の保全

■快適環境

- 海・里山・文化財の活用と継承の不足
- 山林や荒廃農地・松枯れによる景観悪化
- 文化財保護の体制不足
- 公園の維持管理（緑化・清掃）

■生活環境

- 公害防止体制の強化、環境保全協定の内容見直し
- 水質汚濁・大気汚染・有害化学物質などの監視

■資源循環

- 1人当たりごみ排出量は県平均より多い状況
- 分別に関するトラブルや苦情
- 山間部や海岸林での不法投棄対策

■地球環境

- 温室効果ガス排出量削減の加速化
- 再生可能エネルギーの地産地消を推進
- 省エネ推進・次世代自動車への転換
- 吸収源対策の強化

■人づくり・基盤整備

- 主体的に行動できるしくみづくり
- アカウミガメ保護活動、里山体験
- 環境情報をわかりやすく提供
- ネットワーク構築

望ましい環境像

本計画の上位計画である「第3次御前崎市総合計画」の将来都市像は、「安心と希望を未来へつなぐ 人が自然と共生するまち 御前崎」であり、環境・市民生活分野の基本目標は「人と自然を思いやるまち」です。そのため、本計画ではこの環境・市民生活分野の基本目標を望ましい環境像として掲げます。

【第2次御前崎市環境基本計画（後期計画）の望ましい環境像】

人と自然を思いやるまち

御前崎市の豊かな自然を保全するとともに、快適な生活環境の整備を積極的に進め、環境に負荷をかけない、人と自然を思いやるまちを目指します。



重点プロジェクト

■カーボンニュートラル×ネイチャーポジティブ プロジェクト

- 重点プロジェクトの推進により、望ましい環境像の実現を図ります。
- 具体的には、「ネットワーク構築事業」「再生可能エネルギー導入活用事業」「森・川・海つながり創生事業」の3つの事業を推進します。

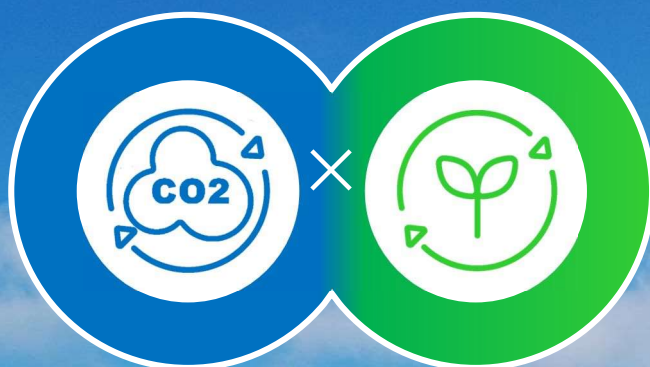
計画の体系

望ましい環境像		環境目標	取り組みの方向	取り組み項目
第2次御前崎市環境基本計画	人と自然を思いやるまち	自然環境の保全と生物多様性の確保	きれいな海と川を守る	・海岸の環境保全 ・海岸・河川の美化 ・水産資源の保全・回復 ・水資源の保全
			緑豊かな森林と農地を守る	・森林の適正管理と木材の利用促進 ・計画的な農地の保全と基盤の整備 ・地産地消及び環境保全型農業の推進
			多様な生きものと共生する	・野生動植物の保護・管理 ・飼養動物の適正管理
		人が自然と豊かに触れ合う場の保全と創造	地域特性を活かした豊かなふれあいの場をつくる	・良好な景観形成の推進 ・歴史、文化的遺産の保護及び継承 ・公園、緑地の整備と適正管理及び利用促進 ・緑化の推進
		安全・安心な生活環境の保全	空気や水を汚さない	・公害の防止 ・水質汚濁、大気汚染の推進 ・悪臭、騒音、振動対策の推進
		第2次御前崎市一般廃棄物処理基本計画（食品ロス削減推進計画含む）		
		資源の循環利用と環境負荷の低減	ごみの減量とリサイクルを進める	・リデュース、リユースの推進 ・リサイクルの推進 ・食品ロスの削減 ・計画的な廃棄物対策と適正処理 ・不法投棄対策、環境美化の推進
		御前崎市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）		
		地球温暖化対策の推進	地球温暖化を止める	・再生可能エネルギーの利用促進 ・省エネルギーの促進 ・二酸化炭素吸収源の保全、創造 ※関連施策として「ごみの減量とリサイクルを進める」の「リデュース・リユースの推進」「リサイクルの推進」「食品ロスの削減」を含む。
		人づくり・環境ネットワークの整備	環境を学び活動する	・環境教育、環境学習の推進 ・環境保全活動の推進 ・環境情報の提供とネットワークづくり



本市が目指す望ましい環境像「人と自然を思いやるまち」の実現に向けて、特に注力して推進していく取り組みを「カーボンニュートラル × ネイチャーポジティブ プロジェクト」として位置づけ、分野横断的に連携し取り組みます。

カーボンニュートラル × ネイチャーポジティブ プロジェクト



自然を守り増やしながら二酸化炭素の排出と吸収のバランスを図り、
地球温暖化の防止を目指します。

本市の地域特性に適した3事業を、相互に連携させながら推進します。





環境目標1 自然環境の保全と生物多様性の確保

きれいな海と川を守る

海岸浸食の対策や松枯れ被害の防止、アカウミガメの産卵環境を保全するための清掃活動を行います。磯焼けに伴う藻場の復元、ブルーカーボンの創出を通じた沿岸生態系の再生などを推進します。



取り組み項目

- ・海岸の環境保全
- ・海岸・河川の美化
- ・水産資源の保全・回復
- ・水資源の保全

14 海の豊かさを
守ろう



15 陸の豊かさも
守ろう



緑豊かな森林と農地を守る

森林の間伐や植栽、竹林の拡大防止を推進し、水源涵養などの多面的機能を維持します。農地については、遊休農地の解消、学校給食を通じた地産地消、環境保全型農業の普及に取り組めます。



取り組み項目

- ・森林の適正管理と木材の利用促進
- ・計画的な農地の保全と基盤の整備
- ・地産地消及び環境保全型農業の推進

15 陸の豊かさも
守ろう



多様な生きものと共生する

アカウミガメなどの希少野生動植物を保護し、産卵地や生息地を監視・保全します。有害鳥獣対策や地域猫の不妊去勢手術支援などの適正管理を徹底します。



取り組み項目

- ・野生動植物の保護、管理
- ・飼養動物の適正管理

14 海の豊かさを
守ろう



15 陸の豊かさも
守ろう



環境目標2 人が自然と豊かにふれあう場の保全と創造

地域特性を活かした豊かなふれあいの場の保全と創造

自然とふれあえる施設のネットワーク化、良好な景観形成や文化財の保護などを推進します。公園や街路の適切な維持管理、家庭や公共施設の緑化を推進します。



取り組み項目

- ・良好な景観形成の推進
- ・歴史、文化的遺産の保護及び継承
- ・公園の適正管理及び利用促進
- ・緑化の整備及び保全の推進

11 住み続けられる
まちづくりを



14 海の豊かさを
守ろう



15 陸の豊かさも
守ろう



環境目標3 安全・安心な生活環境の保全

空気や水を汚さない

事業所との環境保全協定の締結や監視を継続し、公害の未然防止に努めます。また、下水道への接続や合併処理浄化槽への転換による水質汚濁対策や、騒音・振動・悪臭の低減を図ります。



取り組み項目

- ・公害の防止
- ・水質汚濁、大気汚染対策の推進
- ・悪臭、騒音、振動対策の推進



環境目標4 資源の循環利用と環境負荷の低減

ごみの減量とリサイクルを進める(第2次御前崎市一般廃棄物処理基本計画・食ロス削減推進計画含む)

3R(ごみの発生抑制・再使用・リサイクル)を徹底するとともに、食品ロス削減の啓発や資源ごみの徹底分別、不法投棄の監視強化により、資源が循環する美しいまちをつくります。



取り組み項目

- ・リデュース、リユースの推進
- ・リサイクルの推進
- ・食品ロスの削減
- ・計画的な廃棄物対策と適正処理
- ・不法投棄対策、環境美化の推進



環境目標5 地球温暖化対策の推進

地球温暖化を止める(御前崎市地球温暖化対策実行計画 区域施策編)

2050年のカーボンニュートラルに向け、太陽光など再生可能エネルギーの利用促進、ZEH・ZEBの普及、次世代自動車の導入支援、森林や藻場による二酸化炭素吸収源の保全と創造を強化します。



取り組み項目

- ・再生可能エネルギーの利用促進
- ・省エネルギーの促進
- ・二酸化炭素吸収源の保全と創造



環境目標6 人づくり・環境ネットワークの整備

環境を学び活動する

総合的な学習の時間を利用した環境教育や環境に関する講演会の開催、地域の環境保全活動への支援、環境情報の提供などにより、環境について学び活動する人を増やします。



取り組み項目

- ・環境教育、環境学習の推進
- ・環境保全活動の推進
- ・環境情報の提供とネットワークづくり





環境目標 1 自然環境の保全と生物多様性の確保

環境指標	現状（2024 年度）	目標（2033 年度）
● 6 R 県民運動賛同企業・団体数	9 団体	17 団体
● 海岸林整備・ボランティア参加者数	139 人/年	170 人/年
● 河川愛護参加人数	3,858 人/年	4,000 人/年
● 保安林等の植樹本数	900 本/年	1,350 本/年
● みどり認定者数	1 人	10 人
● 遊休農地面積	502ha/年	412ha/年
● 地域で守る農地面積	160ha/年	750ha/年
● アカウミガメ保護活動の認知度	69%	75%
● 飼い猫・地域猫の避妊去勢手術件数	1,974 件	2,500 件

環境目標 2 人が自然と豊かにふれあう場の保全と創造

環境指標	現状（2024 年度）	目標（2033 年度）
● グリーンバンク申請団体数	46 団体/年	55 団体/年
● ガーデンシティ事業参加数	5 団体/年	5 団体/年
● 公園の管理への満足度	39.4%	50.0%
● 文化財講座の満足度	80.0%	90.0%

環境目標 3 安全・安心な生活環境の保全

環境指標	現状（2024 年度）	目標（2033 年度）
● 公害防止協定（環境保全協定）締結社数	41 件	50 件
● 生活雑排水処理率	87.9%	91%
● 臭気指数による基準値超過地点数	4 地点/年	2 地点/年

環境目標 4 資源の循環利用と環境負荷の低減

環境指標	現状（2024 年度）	目標（2033 年度）
● 1 人 1 日当たりごみ排出量	866g/日・人	791g/日・人
● リサイクル率	33.1%	33%
● 給食の残菜の再利用率	97.7%/年	98.5%/年
● し尿・浄化槽汚泥処理量	13,907kl/年	13,850kl/年
● 不法投棄監視パトロール実施回数	37 回/年	48 回/年

環境目標 5 地球温暖化対策の推進

環境指標	現状（2024 年度）	目標（2033 年度）
● 市区域からの温室効果ガス排出量削減割合（2013 年度比）	-29%（2022 年度）	-48%（2030 年度）
● CO ₂ 排出削減に向けた取り組みを実施している割合	85.1%	100%
● 省エネ取り組みの実施度	75.9%	94.2%
● 再生可能エネルギー導入量	86,063kW	193,000kW
● 新エネルギー・省エネルギー機器導入補助件数（累計）	3,056 件	3,600 件
● ブルーカーボン創出による CO ₂ 吸収量（新規取組分）	—	2t-CO ₂ 年

環境目標 6 人づくり・環境ネットワークの整備

環境指標	現状（2024 年度）	目標（2033 年度）
● 環境出前講座参加者の関心度	97.8%	100%
● アカウミガメ保護活動見学会参加者の満足度	—	95.0%
● アカウミガメ保護関連の啓発事業・学校行事の参加者数	703 人/年	700 人/年
● 環境保全活動への参加割合	27.5%	30%
● 道路愛護参加人数	2,860 人/年	3,300 人/年
● ごみゼロ運動の参加者数	3,058 人/年	4,000 人/年
● 「御前崎クエスト」事業参加者数（小学生）	48 人/年	50 人/年
● 市公式 SNS などを活用した年間での情報発信回数	5 件/年	12 件/年



御前崎市総務部 GX 推進課

〒437-1692 静岡県御前崎市池新田 5585 番地
【TEL】 0537-85-1134 【FAX】 0537-85-1137
【E-mail】 gx@city.omaezaki.shizuoka.jp